



2024年2月14日

各 位

会 社 名 片倉コープアグリ株式会社

代表者名 代表取締役社長 小林 武雄

(コード番号 4031 東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役執行役員経理部長 杉本 真

(TEL. 03-5216-6611)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表した2024年3月期連結業績予想及び期末配当予想の修正を行うことになり、また2024年3月期個別業績予想と前年実績値との間に重要な差異が生じることになりましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 2024年3月期通期 業績予想

(1) 連結業績予想の修正

2024年3月期通期連結業績予想数値 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A)	45,000	1,000	1,000	600	66円93銭
今回修正予想(B)	43,000	△1,000	△850	△600	△66円93銭
増減額(B-A)	△2,000	△2,000	△1,850	△1,200	—
増減率(%)	△4.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	51,031	3,557	3,525	2,172	242円50銭

(2) 個別業績予想の前期実績との差異

2024年3月期通期個別業績予想数値 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期 純利益
前期実績 2023年3月期(A)	47,626	3,360	3,438	2,014	224円90銭
今回予想(B)	40,000	△1,000	△750	△550	△61円35銭
増減額(B-A)	△7,626	△4,360	△4,188	△2,564	—
増減率(%)	△16.0	—	—	—	—

(3) 連結業績予想の修正及び前期実績との差異が生じた理由

今回の修正見通しの前提として、肥料事業におきましては、原料価格高騰から原料市況が反転し、昨年6月及び11月と2度に亘り肥料価格が値下がりとなりました。当社グループは、昨今から続く特異的な原料情勢の中でも、国内トップクラスの肥料メーカーとして安定供給を果たすべく、在庫リスクがあるものの常時一定量の原料及び製品在庫を確保しております。肥料事業は原価に占める原材料費の割合が高いことから、原料価格が大きく上昇あるいは下落する期間においては、安定供給のために保有している原料及び製品在庫が損益に大きく影響を与えます。

このような状況の下、肥料販売数量は前年度の駆け込み需要による反動減、肥料価格値下がり以降の需要回復が想定を下回る見込みであることから、売上高は43,000百万円（前回予想比4.4%減）、利益面においては販売数量の減少に加えて、肥料価格値下がり前の在庫に起因する売買差益等のマイナス影響により、営業損失1,000百万円（前回予想は営業利益1,000百万円）、経常損失850百万円（前回予想は経常利益1,000百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失600百万円（前回予想は親会社株主に帰属する当期純利益600百万円）の損失計上となる見通しであります。

また、個別業績予想につきましても、同様の理由から、営業利益以下の利益項目において損失計上となる見通しであります。

2. 期末配当予想の修正

(1) 期末配当予想修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2023年5月15日発表)		34円00銭	34円00銭
今回修正予想		20円00銭	20円00銭
(ご参考) 前期 (2023年3月期) 実績		121円00銭	121円00銭

(2) 期末配当予想修正の理由

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要施策と位置付け、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配当を行うことを基本とし、配当性向50%を目標としております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり34円を予定しておりましたが、通期の連結業績予想を純損失計上に下方修正することを勘案し、継続的な配当は企業として重要な責務であるという観点から、また、株主の皆様のご支援、ご期待にお応えするため、1株当たり20円とさせて頂く予定であります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上